

第3次宗像市国土利用計画(案)に関する
市民意見提出手続の意見及びその回答

箇所	意 見	対応	回 答
P14	本市で発生する冠水被害は天井川である釣川とその釣川に雨水排水する上流にあたる丘陵地を宅地造成してきたことが大きな要因の一つであると言えます。 その教訓もありP8(2)防災・減災対策による安全・安心な都市づくり中、「災害リスクの高い地域における適切な土地利用の制限、さらには立地適正化計画との連携等により、安全な地域への居住誘導や都市機能誘導等に向けた取組を進めていく必要がある。」また、P14土地利用の基本方針の農用地については、「農業生産や洪水の調整機能、潤いのある景観形成、保水やヒートアイランドの抑制など、グリーンインフラとしての多面的な機能の発揮が期待できるため保全を原則とする。」との記載が盛り込まれているものと認識していますが、災害リスクの高い地域だけではなく、その上流域の宅地造成等についても注意が必要と考えています。 特に既にほぼ毎年冠水被害が発生している赤間駅周辺や東郷駅周辺の土地利用を行う場合については、すでに策定済みの「雨水管理まちづくり計画」の現状を更新することにもなりますので、十分な影響性調査と分析が必要であると考えます。 雨水に関する基準値の見直しを含め、より丁寧に対策を行うなど、計画中に記載した方がよろしいのではないのでしょうか	一部修正	国土利用計画は、都市計画関連計画の上位計画として、市域全体の土地利用に関する基本的な方針を定めるものです。「宗像市雨に強いまちづくりビジョン」(以下、「雨ビジョン」という。)などの個別計画は、上位計画に基づき策定されるものであり、本計画には個別の記載はしていません。 なお、本計画(案)の位置づけを明確にするため、参考資料 P27 に計画の位置づけを付記します。 「雨ビジョン」の見直しについては、社会情勢の変化や上位計画等の大幅な見直しなどを踏まえ、必要に応じて行うこととしています。 また、リスクの高い地域やその上流域で開発などによる土地利用を行う際には、都市計画法第33条の規定に基づき、当該開発行為において雨水流出量の調整を行います。従いまして、「雨ビジョン」で掲げる対策や基準値等に大きな影響を与えるものではなく、当該開発行為のみでの「雨ビジョン」の見直しは考えていません。

P18	第2期計画と全てを比較することはできないと考えますが、利用区分ごとの規模の現状及び目標について、宅地の目標値が77ha と大幅に増加していることと、その他の目標値(公共公益施設用地、公園緑地、遊休農地など)が32.5ha と大幅に減少していることについて、そのおおよその理由は次ページに示されていますが、より具体的に説明したほうがわかりやすいのではないのでしょうか	一部修正	いただいたご意見を踏まえ、特に増減幅が大きい「農用地」「宅地」、「その他」につきましては、増減要因を追記します。 「農用地」については、参考資料「2—2土地利用区分別の目標面積の算定方法」に近年の農用地面積の構成比を踏まえ減少要因を追記します。 「宅地」については、参考資料「2—2土地利用区分別の目標面積の算定方法」に近年の人口動向や過去の土地利用転換の傾向を踏まえ増加要因を追記します。 なお、「その他」※1については、主に遊休農地や雑種地などの低未利用地から宅地への転換が見込まれることから、P19(6)その他に減少要因を追記します。 ※1、「その他」とは、農用地、森林、水面・河川・水路、道路、宅地のいずれにも該当しない土地(公益施設用地、公園緑地、遊休農地など)を指します。
P19	地域別の概要の中で例えば(5)宅地について「国道3号線沿いにおいて一定規模の新規用地を確保する観点」を増える根拠としているが、これは既に決まっていることを前提として計画を後から策定しているという事でしょうか	原案どおり	国土利用計画は、都市計画関連計画の上位計画として、市域全体の土地地用に関する基本的な方針を定めるものです。 ご指摘の箇所は、第2次宗像市国土利用計画の方針も踏まえ、国道3号沿いは、広域交通の利便性が高く、まとまった用地を確保できる候補地として、市土の土地利用の方針に、位置付けているものです。 従って、既に決まっている開発計画等を前提として本計画を策定しているものではありません。
P24 P25	現況図と構想図については計画の方向性や、これまでの計画との方針にどのような変化(差)があるのかについて確認するための参考資料と考えられるが、非常にわかりにくいので、改善が必要ではないのでしょうか	一部修正	P24「参考1 宗像市土地利用現況図」は、現状の土地利用として記載しています。 「参考2 宗像市土地利用構想図」は、本計画(案)に記載している基本方針や目標、目標を達成するための土地利用構想を概念化したものです。従って、これまでの計画とどのような変化(差)があったかを示したものではありません。なお、図の位置づけについて付記します。